

第2回ごじゃっぺ検定 解説

1) 茨城県に現存する7つの郡のうち5つを答えよ (各2点 計10点)

稲敷郡、北相馬郡、久慈郡、猿島郡、那珂郡、東茨城郡、結城郡のうちから5つ

稲敷郡：阿見町、河内町、美浦村

北相馬郡：利根町

久慈郡：大子町

猿島郡：五霞町、境町

那珂郡：東海村

東茨城郡：茨城町、大洗町、城里町

結城郡：八千代町

2) 次のカタカナ表記を正しい表記に直せ (各2点 計12点)

ヒタチ大宮市 → (常陸)

ヒタチ市 → (日立)

国営ヒタチ海浜公園 → (ひたち)

ヒタチノウシク駅 → (ひたち野うしく)

ヒタチナカ市 → (ひたちなか)

ヒタチナカ港 → (常陸那珂)

3) 鹿行地区の沿岸で冬に食べられる郷土料理「ごさい漬け」の主要な具材を2つ答えよ (各2点 計4点)

(サンマ ※イワシやシャケも可) (大根)

※サンマと大根を塩漬けにした鹿行地区の保存食で、「塩辛こうこ」ともいう。

4) 次の茨城の伝統食材、和菓子が作られている市町村を答えよ (各2点 計12点)

凍みこんにゃく → (常陸太田市)

※厳冬の田畑にこんにゃくを敷き詰め、水をかけながら、夜凍らせて昼間は天日で解凍させるのを繰

り返して作る伝統食材。

すだれ麩 → (結城市)

※小麦粉から取り出した弾力のあるグルテン生地を天日干しにして作られる伝統食材で、結城市では冠婚葬祭に用いられる。

ちまき → (常陸太田市)

※団子状にした生地の中にあんを入れ、熊笹で巻いたもので、徳川光圀の家臣である佐々介三郎が越後から持ち帰ったのがはじまりといわれている。

みょうが饅頭 → (坂東市)

※夏祭りの時に、収穫したばかりの小麦を粉にして饅頭を作り、みちょうがの葉で包んだもの。「やきびん」ともいわれている。

吉原殿中 → (水戸市)

※水戸を代表する銘菓で、もち米からできたあられを棒状にしてきな粉をまぶしたもの。徳川斉昭の時代に奥女中の吉原がごはん粒で作ったものがはじまりとされている。

御家寶、御家宝 → (古河市)

※埼玉の五家宝と同じく、水戸の吉原殿中が由来ではないかとされているが、発祥については諸説ある。

5) 一人当たりの田んぼ面積、全体に占める田んぼ面積がともに県内一の市町村を答えよ (4点)

(河内町)

6) 筑波山の説明として誤っているものを一つ選べ (5点)

- A. 日本百名山に選ばれており、百名山で最も低い山である。
- B. つくば市、桜川市、石岡市の3市にまたがっている。
- C. 「紫峰」とも呼ばれ、醤油をあらわす「むらさき」は筑波山に由来するという説がある。

D.地磁気観測所があり、この観測所への影響が出ないように、茨城県内を走る電車は直流から交流に切り替えられる。

(**D**) ※地磁気観測所があるのは石岡市の柿岡で筑波山ではない

7) 茨城に関連する次の文で誤っているものを一つ選べ (5点)

- A.コイン精米機は茨城県が発祥で、1978年に現在の鹿嶋市に設置されたのが最初である。
- B.日本一長いバス停の名前は、つくば市の「産技総合研筑波東事業所つくば研究支援センター入口」である。
- C.日本一長い滑り台は、日立市の「奥日立きららの里」のわくわくスライダーで、全長は1188メートルである。
- D.つくば市には養蚕の神を祀る「蚕影(こかげ)神社」があり、日本の養蚕の発祥地とのいわれがある。

(**C**)

※日本一長いバス停は2016年にできた行方市の「レイクエコー・白浜少年自然の家・なめがたファーマーズヴィレッジ中央」である。「産技総合研筑波東事業所つくば研究支援センター入口」は現在名称が変更になり、現在は「産総研つくば東事業所つくば研究支援センター入口」となっている。

8) 常陸国風土記には、茨城は「土地が広く、海山の産物も多く、人々は豊かに暮らし、まるで〇〇の国(理想郷)のようだ」と書かれています。この〇〇に入る文字を漢字2文字で書け (5点)

(**常世**) ※常世と書いて「とこよ」と読む

9) 次の言葉を標準語に直せ (各2点 計8点)

ぼっちい → (**汚い**)

※茨城以外でも広く使われるようだが、茨城では幼児に対して使うことが多い

ぼっち → (**末っ子**)

※末子のなまりで、茨城では「ぼっちのバカぞう」などという言葉もある。

ぼっち → (**(稲わらや草などが) 山積みの状態**)

※一人ぼっちのことではない。突起物をあらわす「ぼっち」との関連もありそうである。

ぬくとぼっち → (ひなたぼっこ)

※ぬくとい=温かい

1 0) 次の茨城弁の語源となる言葉の〇〇に入る文字を漢字で書け。(各 3 点 計 15 点)

きこ →〇〇 (貴公)

例) きこ! ふざげでんじゃねえど「

※「貴様」などと同じで、元々は目上の人に使う言葉だったが、同等以下の者に使われるようになった。

こじはん →〇〇飯 (小中 または 小昼)

例) 腹減っちったがらこじはんにすっぺ

※農作業の合間など、小腹が空いたときに食べる食事をいう

はんたら →〇〇 (半俵)

例) 米はどのぐれーいんだ?はんたらでいいのが?

※1 俵が 60 キログラム、半俵はその半分の 30 キログラムとなる。現在の米袋の標準サイズ。

じんぐり →〇〇り (順繰)

例) じんぐりに回ってくっから、ちっと待ってろよ

おびとぎ →〇〇き (帯解)

例) 7 歳じゃ、おびとぎが?早いなやあ

※帯解き: 元々は、初めて普通の帯を締める祝い。中世末頃から始まったが、江戸中期頃から 11 月 15 日の七五三に移行し、茨城では七五三と同義である。「紐解き」ともいう。

1 1) 次の茨城弁を標準語に訳せ(1 問 5 点 計 20 点)

1. うわっぱりきてがなくっちゃ、こつつあむがっぺ

答え: 上着を着ていかないと寒いでしょう

解説: うわっぱり=上着、こつつあむい=寒い

2. よめごとってねで、とっとどおわしっちえよ

答え：愚痴（文句）を言ってないで、とっとと終わらせちゃいなよ

解説：よめごと＝愚痴、文句（語源は世迷言）、終わす＝終わらず、～ちえよ＝ちゃえよ

3. あんにゃろ、いいはじゃったらきくっちゃねーがら

答え：あの野郎、言い出したら聞く耳を持たないから

解説：あんにゃろ＝あの野郎、はじゃる＝始まる、聞くっちゃねえ＝聞く耳を持たない、人のいうことを聞かない

4. イモアライとシーターっちゃ、なにちがーんで？

答え：MRI と CT って何が違うの？

解説：いもあらい＝MRI、シーター＝CT、～っちゃ＝って、ちがーんで？＝違うの？